

2021年7月度 定例所長会見 所長所感

- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- また、「核物質防護事案」や「安全対策工事の一部未完了」につきまして、地域の皆さまをはじめ、広く社会の皆さまに、大変なご不安をおかけしておりますこと、また、ご不信を与えておりますことについて、改めて深くお詫び申し上げます。
- 本日、私からは3点お話しいたします。

< 1. 新型コロナウイルスワクチンの職域接種について >

- はじめに、当発電所における新型コロナウイルスワクチンの職域接種の準備状況についてです。
- 東京電力グループでは、6月15日にお知らせさせていただいたとおり、社員および当社グループの事業所や発電所に勤める協力企業社員などを対象に、政府方針に沿って、ワクチンの職域接種を実施することとしております。
- 当発電所においても、接種を希望する当社社員と協力企業社員を対象として、準備を進めており、厚生労働省への職域接種の申し込みを行っております。
- 接種を行う医療関係者や会場の確保は既に終えており、現在は、ワクチンの手配に向けた調整を行っているところです。

- そのため、本日時点では詳細な日程等をお示しすることはできませんが、届き次第、速やかに対応できるよう、関係者と調整しております。
- 職域接種が開始できれば、地域の皆さまの安心や、医療関係者の皆さまのご負担軽減に寄与できると考えておりますので、しっかりと準備してまいります。

< 2. ISO9001 認証の返納について >

- 次に、ISO9001 認証の返納についてです。
- 当発電所は、品質保証活動の改善を目的に国際的な規格である ISO9001 を 2006 年に取得し、現在まで認証を継続しておりました。
- 一方で、本年 4 月、核物質防護設備の機能一部喪失による原子力規制委員会からの評価結果を受け、ISO 認証の審査登録機関から、「認証を継続するには、核物質防護設備の機能に関する是正措置の確認を行う追加の審査が速やかに必要」との連絡がありました。
- 当発電所では、現在、原子力規制委員会への報告に向け、根本的な原因究明と、その改善措置活動を検討しているところであり、審査登録機関からの追加の審査が困難な状況にあります。このため、認証を継続するための協議を審査登録機関と重ねてまいりました。

- そのような中、審査登録機関から、「認証を再取得する意向であれば、一旦、認証を返納したうえで、審査条件の協議を継続してはどうか」との提案がありました。
- 当発電所といたしましては、この提案を受け入れ、認証を返納することとし、審査条件が整い次第、「IS09001」の再取得を目指すこととしたものです。
- 引き続き、「福島第一原子力発電所事故の反省と教訓」という原点に今一度立ち返り、発電所を生まれ変わらせるべく、発電所の安全性や業務品質の向上に向け、取り組んでまいります。

< 3. 7号機燃料取替機の制御盤等の交換について >

- 次に、7号機燃料取替機の制御盤等の交換についてです。
- 燃料取替機は、原子炉と使用済燃料プールとの間を移動し、燃料の取り出しや装荷をする際に使用する設備になります。
- 燃料取替機の制御盤については、計画的な交換を実施してきており、今回、7号機の燃料取替機の制御盤についても交換を実施するものです。
- 具体的には、燃料取替機の操作盤や制御盤、台車を動かすためのモーターの交換を実施し、交換後は、正常に動作するかを確認するため、実際の燃料ではなく模擬燃料を用いて燃料取替機の動作試験を実施いたします。
- なお、工事開始については、2021年7月末からを予定しており、具体的な工期については調整中です。

- こちらの作業につきましても、安全を最優先に行ってまいります。

<結び>

- 最後に、消火配管工事に関して報道されている件については、当社ホームページにスタンスを掲載させていただいておりますが、改めてお話しさせていただきます。
- 当発電所において、消火配管工事に関する申告があったことは事実です。
- その上で、発電所の安全確保に万全を期していくため、申告内容の真偽を含め事実関係をしっかりと調査、確認する必要があり、現在も調査中でございます。
- 申告案件であることから、公益通報者保護法や同ガイドラインの趣旨に鑑み、その調査の過程で申告者に不利益が及ばないよう配慮が必要と考えており、申告内容や調査状況の詳細を明らかにすることを現時点では控えておりますが、今後の調査結果を踏まえ、適切なタイミングで皆さまにお知らせしたいと考えております。
- 本日、私からは以上です。

以 上